

あなたのまちの **社協ナビ**

市町社協の取り組んでいるさまざまな活動をご紹介します。

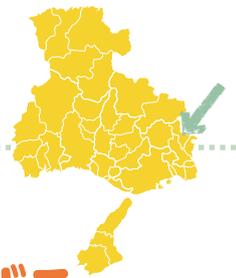
活動を
もっと詳しく
知りたい方は

猪名川町社会福祉協議会

☎072-766-1200

猪名川町社協

検索



みんなで作る安心して暮らせるまちづくり ～専門職だけではなく、住民と一緒に活動を広げる～

猪名川町社協では、第6次地域福祉推進計画において「みんなで作る安心して暮らせるまちづくり」を基本目標に、「人の輪づくり」「きっかけづくり」「情報の発信と受信」「社協づくり」を重点活動として取り組んでいる。

認知症の人を地域で支える

猪名川町では、行政、社協と関係団体が平成26年度に「猪名川町徘徊SOSネットワーク」の取り組みを開始。これを機に、社協では、計画の重点活動である「人の輪づくり」に関連して、事業所や各種団体と連携し、社協の地域包括支援センターを中心に「認知症サポーター養成講座」やSOSネットワークの啓発を推進した。昨年度は、小中高校やショッピングモール、スーパーマーケットといった職域・地域団体などを対象に、544名の住民らが講座を受講し広がりを見せている。

認知症サポーター養成講座の講師を務める「キャラバンメイト」は、住民や専門職など74名が登録している。活動の中心は、民生委員・児童委員やボランティアで、講師のほかに、中学校区単位で各まちづくり協議会と共に認知症行方不明者発見訓練も行っている。



まちぐるみで訓練を行う(声掛けの様子)

住民自身が進めるまちづくり

社協では、キャラバンメイトが住民の視点で養成講座や発見訓練の企画・運営を担えるよう、意識的に役割分担などの働きかけを行ってきた。現在は、積極的に意見を出し合い、講座のグループワークの進行や、寸劇のシナリオ作成と上演までの全てを担うまでになっている。また、訓練では毎回振り返りを行って改善を重ねており、「自分たちで企画して動くことが楽しい」という声が出るほどだ。活動が活発になった結果、講座の開催回数や受講者数は年々増えている。

お互いに自分ができていることを無理なく分担し活動しているうち、安心して暮らせる地域をイメージしながら、地域のサロン活動に参加する人もいるという。「この取り組みで、地域住民が持つ力に触れることができ、私たち社協職員も力をもらっている」と地域包括支援センターの菅野さんは語る。

住民自身が進みたい活動が「人の輪」を広げ、また次の活動の「きっかけ」となる。この積み重ねが「安心して暮らせるまちづくり」の基盤になっている。



訓練の振り返りが活動意欲を高める

取材を終えて

地域包括支援センターを、社協が受託しているという強みを活かし、まちづくり協議会をはじめ、さまざまな団体や機関と連携しながら活動を展開しています。専門職主導ではなく、住民が主体になることで活動が広がりをみせていることがよく分かりました。

会長から 猪名川町社会福祉協議会 会長 鍋谷 将

猪名川町社協では、「みんなで作る安心して暮らせるまちづくり」の福祉目標を達成するため、地域の方々をはじめ行政や関係機関・団体等と連携・協働し、活動を実施しています。

ニュータウン開発から47年が経過し、高齢化の進展に伴い、民生委員・児童委員と協力委員、福祉委員が一体となって地域課題を解決すべく取り組んでいます。特に高齢者の運動・食事・社会参加など、居場所づくりにも積極的に関わっていただいています。活動の担い手を一人でも増やすとともに、活動しやすい地域づくりに社協の役割を發揮していきたいと考えております。

